

#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.473)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



精神科の薬がわかる本

第5版

姫井昭男＝著

定価 2,530 円／A5 判・240 頁／医学書院／2024

精神科全領域の薬がこの1冊で丸わかり！ 精神科全領域の薬に関する最新かつ正確な情報を、第一線で診療を行う著者が厳選して紹介する。精神科を専門とする医師・研修医や精神科看護師はもちろん、精神科以外の科の医療者で「精神科の薬」を使用する機会のある方にとっても有益な1冊。第5版では、なぜその薬が効くのかを知ること、[精神科の薬]の誤用と乱用を防ぐことに注力している。



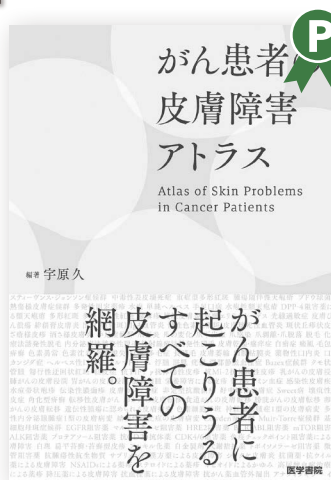
日本臨床栄養代謝学会 JSPEN コンセンサスブック③

リハビリテーション／在宅／小児／摂食嚥下／周術期・救急集中治療

日本臨床栄養代謝学会（JSPEN）＝編

定価 4,620 円／B5 判・392 頁／医学書院／2024

日本臨床栄養代謝学会（JSPEN）が総力をあげてお届けするコンセンサスブックの第3巻。「総論」パートで基本知識を、Q&A形式の「臨床疑問」パートではベッドサイドで役立つ実践的な知見をわかりやすく紹介した。「リハビリテーション」「在宅」「小児」「摂食嚥下」「周術期・救急集中治療」における栄養管理・栄養療法について解説。初めて臨床栄養を学ぶ人にも、専門性を高めたい人にも最適な1冊。



がん患者の皮膚障害アトラス

宇原久＝編著

定価 14,300 円／B5 判・432 頁／医学書院／2024

がん患者に起こりうる皮膚障害のすべてを網羅！ テキスト 400 頁超、症例写真は 555 枚にのぼる。臨床での実用性とアトラスの網羅性の両方を兼ね備えた、がん関連皮膚障害の決定版。1 章では皮膚障害に対する考え方と向き合い方を解説し、「症候・症状編」の 2～6 章、「薬剤編」の 7～10 章の 2 つに分け、がん患者に起こる皮膚障害を幅広くカバー。診療科を限定せず、がん診療に関わるすべての医療者・患者・家族に向けた 1 冊。



#医学書院の新刊



『medicina』2024年2月号 (Vol.61 No.2)

今どきの手技を見直し、 医療処置でのトラブルを防ぐ

経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫

西垂水 和隆＝企画

定価 2,970 円／B5 判・208 頁／医学書院／2024

「気道・呼吸関連」や「穿刺・ドレナージ関連」、「消化器系」など、幅広い手技の知識をアップデートできる内容となっている。経鼻胃管 (NGT) 「入らなくてもう 1 時間…また口から出てきた!」、尿道カテーテル「入ったと思うんだけど…尿が出ずに血が出てきた!」などの場面における対処法を解説。若手とベテラン、経験値ごとの気をつけるべきトラブルや工夫ポイントなどもふんだんに盛り込まれている。手技のスキルを磨くためのガイドとして、広く活用できる 1 冊。



『検査と技術』2024年3月号〈増大号〉(Vol.52 No.3)

POCUS の決め手。 早く、正確な診断のために

〔特別付録 WEB 動画〕

定価 5,500 円／B5 判・228 頁／医学書院／2024

POCUS (point of care ultrasound) は「病変的を絞って短時間で行う超音波検査」のことであり、救急の現場や外来診察時に活用される手法である。近年、超音波機器が高精度でありながら小型化されてきたことや、POCUS 関連の学会・研究会における検査法の確立化なども相まって、POCUS はより広い分野で用いられるようになってきた。POCUS のコンセプト、救急の現場や在宅医療での活用などを解説した。



『臨床検査』2024年3月号 (Vol.68 No.3)

こどもと臨床検査

定価 2,530 円／B5 判・104 頁／医学書院／2024

「こどもと臨床検査」をテーマに、留意することや急性期医療の特徴、倫理的特殊性など、幅広く解説した。こどもの感染症や循環器系疾患、呼吸器系疾患などの特徴と、それぞれの疾患に関する臨床検査の重要性についても触れている。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.473) にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



呼吸器ジャーナル

膠原病肺

呼吸器内科とリウマチ膠原病内科、
見えている景色はどう違うか？

●● 宮本 篤



医学書院

『呼吸器ジャーナル』2024 年 2 月号 (Vol.72 No.1)

膠原病肺

呼吸器内科とリウマチ膠原病内科、見えている景色はどう違うか？

宮本 篤＝企画

定価 4,510 円／A4 変判・168 頁／医学書院／2024

膠原病肺とは、「さまざまな膠原病に合併する肺疾患で、それぞれの膠原病に固有のもの」という定義が一般的だろう。本企画では、同じ疾患を「呼吸器内科医」と「リウマチ膠原病内科医」の双方が執筆することで、“見えている景色の違い”を理解できるのではないかと考えた。呼吸器内科医は主に肺の画像診断と肺病変の治療戦略を、リウマチ膠原病内科医は膠原病の診断と包括的な治療戦略における肺病変の位置づけを解説した。



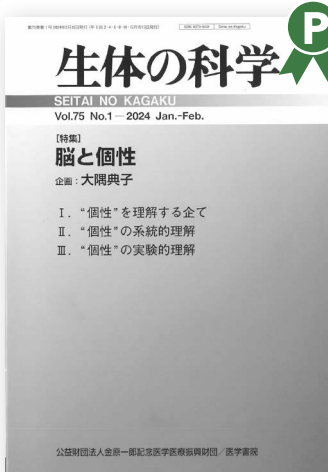
『精神医学』2024 年 2 月号 (Vol.66 No.2)

うつ病のバイオマーカー開発の試み

栗山 健一＝企画

定価 3,080 円／B5 判・120 頁／医学書院／2024

うつ病で苦しむ患者は、世界で 3 億人以上 (世界人口の 4% 超に相当) にのぼると推計されている。うつ病の診断・重症度・治療反応性は、主に観察・行動的特徴に基づき評価されるが、この評価系は十分機能しているとはいいがたい。患者ニーズから考えると、うつ病の初期診療はプライマリ・ケアで取り扱われることが求められるにもかかわらず、精神科医に依存する傾向が強い。このため、うつ病診療においては、簡便な客観的評価系の開発が強く求められており、さまざまな生物学的指標 (バイオマーカー) 候補が探索されている。本特集では、主な指標候補ごとに、開発の歴史から近年の成果に至るまで、各々の開発に携わる専門の研究者・臨床家が解説した。



『生体の科学』2024 年 2 月号 (Vol.75 No.1)

脳と個性

大隅 典子＝企画

定価 1,870 円／B5 判・98 頁／医学書院／2024

個性とは何か？ 心理学や障害、社会性の発達、脳の発達の専門家が、それぞれの立場から「個性」について論じた。「ゲノムからみた“個性”」「個性の進化」「動物の鳴き方の“個性”」など、幅広い分野から考察している。